

# Hitsujigaoka

会報 羊ヶ丘

Vol. 64

2010. 7. 20



ライオンズクラブ国際協会 331-A地区

第2R・第2Z

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

## もう一度 基礎から

果たして自分がその職責にふさわしいかと思う余裕すらないままに、会長職を引き受けることになりました。再入会して4年目になりました。その間、何故か執行部とは縁が切れませんでした。お蔭さまで、当クラブの優れた点や少し改めるべき箇所をつぶさに眺めることができました。

昨年度は幹事の要職にありながら、退会者を10名も出す事態となっていました。退会された方の個々の事情や、経済情勢の急激な変化があったとは言え、引き留めることができなかつた無念さが残ります。

今期、会長としての重責を担うにあたり、念頭に置くべきことは、退会者の防止にあります。「奉仕の心」に共鳴してライオンズクラブに入会されながら、種々の事情により離れていく方々を限りなくゼロに近づける日常の活動を充実させる必要があります。

### “ いま始める、ここから始める、やさしい奉仕 ”

今期のスローガンとして、何を標榜するか。考えあぐねた結果、再構築のためには原点回帰が必要だろうと再出発の意味も込めて、奉仕活動の意義を問い直しました。

まずは始めること、困難なことを仰々しく行っても長続きしません。簡単なことでも、長年続けていくと大きな実績となります。

また、人に優しく、環境にも負荷を及ぼさない爽やかさを感じられる奉仕活動を目指したいと思っています。

一方では、会員数の減少から、活動の源である資金にも制約が出てきました。今までより一層の効果的な運営が求められています。積極的な活動には重点支出を行うのは従来通りですが、経常的な経費は見直さざるを得ない状況にあります。

継続的なアクティビティについても、一部は方式を見直さざるを得ない状況となっております。

そう言った諸々の思いもこめてサブスローガンは

### “ 脚下照覧 ”

としました。古い言葉であり、一度は耳にしたことがあると思います。禅宗の寺院の入口に薄れた墨痕で書かれていることが多くあります。本来の意味は、足下をよく見て履物を整えなさいとの事ですが、転じて基礎固めをし、身近なことにも気を配るよとの教えになっています。

来期は認証25周年を迎えます。今から脚下照覧し、4半世紀の節目を輝かしき状態で迎えたいと考えます。

皆様と、この一年間、志を一つにしてウイ・サーブを実践します。よろしくお願ひ申し上げます。



会長 井上 定幸

## 「友愛と相互理解の精神」を目標として

以前に福祉機器メーカーの会長と懇談の折に感動するお話をいただきました。そのことをご紹介して幹事の抱負とします。

“新雪が舞う寒い夜、仕事を終え帰宅中に急な連絡が入り、初めての依頼で一人暮らしするご婦人のお宅に生活支援でお伺いすることになりました。

到着すると、家はすっかり老朽化し、玄関の土間は隙間風で雪が舞い込んでいました。ご婦人の笑顔に迎えられ、早速お宅に上がり、掃除や洗濯、夕食の支度を済ませ帰ろうとする頃には、私の体は冷え切っていました。

靴を履こうとして玄関に行くと土間は一面に白い雪が積もっていました。靴を探して土間をよく見ると、私の靴の上に段ボールが被せてありました、驚きました、ご不自由なご婦人が私の靴に雪が入らないように配慮して頂いたことに、有り難さで私は胸が詰まりました。

お礼が言葉になりません。深々と何度も頭を下げました。心がとても温かくなりました。 “

その話を聞いた私は、ライオンズクラブにある「友愛と相互理解の精神」は理想ではなく、とても身近なことを実感いたしました。

先日、井上会長が抱負を「足元から始めよう」と話していたことが今更のように実感する次第です。井上会長が目指す羊ヶ丘ライオンズクラブの新スローガンに、会長と思いを一つにして、幹事として甚だ微力の私ではありますが、クラブに貢献していく決意です。



幹事 照沼 司

## 華美を求めず質実剛健に

本年度は、三役の一員として羊ヶ丘ライオンズクラブの会計を担当することになりました。

入会して日が浅く、クラブ運営に対して皆様にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、井上会長の元で地に足のついたスタンスで皆様のお力をお借りして一年間努めさせていただきます。

前期からの会員減少による予算の減少は、会の運営を根本的に変えなければならない契機となりました。

経費削減を今まで以上に推進する必要があります。会計的にも重要なことは、会員の皆様の力を一つにしてライオンズ魂で会員増強に努めることです。

ドネーション・ファインに頼るだけでなく、会員の皆様の優れた智慧と豊かな経験により生産性のある事業を考えることも一つの手段かも知れません。ご提案をお待ちします。

例会は月2回を大原則として、井上丸は出航します。華美なことは求めず、質素であっても心豊かに25期CNに向けて質実剛健に実行する所存でいます。

皆様のご協力の程お願い申し上げます。



会計 山崎 光彦





ライオンテーマー  
田中 るり子

## 奉仕の基本を認識し、楽しい例会に

24期は井上会長を軸として、私がライオンテーマーの役目を担当させて頂くことになりました。気持ちを新たに奉仕の心と羊ヶ丘ライオンズの雰囲気明るく和やかに出来る様活動して生きたいと思っています。

今期のスローガンである「いま始める、ここから始める、やさしい奉仕」に思いを込めて活動に協力していく積りでいます。

会員増強については、どの様にすれば入会していただけるか徹底的に話し合い、その目標を持ち会員相互が協力しながら活性化する必要があると感じています。

奉仕の基本を、再確認しながら楽しい例会になるように心がけていこうと思います。

また今以上会員相互の交流を持ち、色々な意見に耳を傾けながら、「やろう」という息吹のあるライオンリーダーへを育む努力を傾けたいものです。

諸先輩のご指導のもと未来に輝く社会貢献の奉仕活動が出来る様一年間頑張ってみます。

## 友好・親善・相互理解の絆を

第23期の高柳会長並びに役員の方々、大変お疲れ様でした。この度、第24期井上会長のもと、テールツイスターと言う大役に任命され、右も左もわからず緊張の日々を送っています。

会長スローガンである「いま始める、ここから始める、やさしい奉仕」を実践したいと思っています。

また、テールツイスターとは、ライオンズ必携を参照すれば「会合の調和・友好・活気を促進する」と言う大変貴重な役割で、責任感をもって任にあたれば遂行できない五役の一人だと思っています。

過去の自分を鑑みてかなりの傍観者であったことを反省し、内部にも外部にも積極的に参加したいと思っています。ただ、これは自分ひとりの力だけでできるものではありません。会員・家族・仕事などの環境を含め、その中で友情・親善・相互理解の絆によって始めて成されることと思います。

自分の体調に若干の不安はありますが、諸先輩のお力添えを頂きながら一所懸命尽くす所存です。

## 羊ヶ丘の素晴らしさを発信

入会して7年、そろそろ何かお役が回ってくるのではと不安が的中し、PR情報・IT委員長と言う不思議で難しそうな役職を担当することになりました。

技術的なことは皆目分りませんし、担当と言うよりはお手伝いと言った方が適切なのかも知れません。

今まで後方にいた私が広報という形で前面に押し出されてしまったのも何かのご縁と思います。

羊ヶ丘ライオンズクラブの素晴らしさを真剣にPRしたいと思っています。

前任の方から引継を充分に受け、キャビネットが行う会議には極力出席して、私達の立場を存分に主張して行きたいと思っています。

皆様方のご期待に添える成果が上げられるか、非常に心もとないのですが、一年間精一杯頑張りますので、応援宜しくお願い致します。



テールツイスター  
倉松 勝次



PR情報・IT委員長  
横井 篤子



スローガンのボードも一新



活動報告をプロジェクタ投射



新会長 L 井上の挨拶

## 第24期出航例会

2010.7.13

7月13日、今期初めての例会が開催されました。例年の出航例会と違っていたのは、例会の始まる前に、「ライオンズクラブの歴史と活動」のDVDが放映されたことです。

この日の例会では、ゲストが二人もお見えになり、ライオンズクラブを知っていただく絶好の企画となりました。これからも、ビジュアルな企画を続けていくとのことでした。

執行部も新しくなりました。会長には前期幹事だったL井上が就任し、幹事にはテールツイスターのL照沼があたります。会計はPR情報・IT委員長を担当していたL山崎です。

クラブ在籍年数は短くとも、皆さん積極的にライオンズ活動をされてきた方達ばかりです。新しい視点での「羊ヶ丘ライオンズクラブ」が生まれ変わるものと期待が深まります。

第1回目の例会ですから、会長からスローガンの発表があります。前年のスローガンに比べるとトーンが抑え目です。却って、秘めたる闘志を窺い知ることができます。

ガバナー スローガンは 『希望に満ちた夢への挑戦』

会長 スローガンは 『いま始める、ここから始める、やさしい奉仕』 共に前進を目指す意気込みをはらんでいます。一年間、このスローガンの下、社会奉仕活動に邁進しようではありませんか。

ゲスト紹介がありました。一人目は、岩本敏美さんです。岩本敏美税理士事務所を経営する税理士です。平成22年度の北海道包括外部監査人でもあります。お二人目は、田中里佳さんです。今期ライオンテマーのL田中のお嬢さんです。ソワンコーポレーション(株)の専務取締役です。

お二方ともに入会される意思がおりと聞きました。心強い限りです。早く入会記念例会を開催したいものです。

次いで、各担当別に報告が行われました。予算案についての説明では、会員減少の影が強く出ています。アクティビティについても、金銭アクトを少なくし労力アクトに切り替えざるを得ない実情が浮き彫りとなりました。

それでも、例会を楽しく盛り上げようとする執行部の姿を随所に見ることができました。ライオンテマーのL田中は、初めての司会ながら、堂々とした仕切り役でした。多少のトチリは拍手に掻き消されていましたので気がつく人は少なかったはずです。

テールツイスターのL倉松は、静かに淡々と進行します。時折のジョークが却って効果的でした。名テールの一員として名を残すことは確実です。

最後に登壇する出席委員長のL相原は、終始笑顔で出席率の発表を行っております。入会2年目のフレッシュさが溢れていました。

今までのベテラン会員を配した執行部とは異なり、新機軸が期待できる面々です。これからの一年間、次々と新しいことが湧き上がってくると思われれます。



ライオンズの誓い 前会長L高柳



本日のゲスト 岩本敏美様



本日のゲスト 田中里佳様



張り切る出席委員長 L相原



## いま始める、ここから始める、やさしい奉仕



会長挨拶も最後 L高柳



豪華な食事に盛り上がる会員



今期役員としての最後のロアー



最終の幹事報告 L井上



旧幹事L井上 新幹事L照沼



旧会計L上西 新会計L山崎



引継も和やか新旧会長

### 年次交歓ライガー

2010. 6. 29

他のライオンズクラブでは既に終了している年次交歓ライガーが、6月29日に当クラブ第23期の最終行事として開催されました。

例会に先立ち、1年間の活動記録をプロジェクターにより放映しました。年間の撮影枚数1000枚を超える中から、厳選した写真はどれも臨場感があふれ、年間の活動を振り返る絶好の機会となりました。

今期最後の挨拶となるL高柳の会長挨拶がありました。色々なことがあった1年でしたが、ご苦労様の拍手の中、演壇を下りる姿には男の哀愁が漂っていました。そして、今期締めくくりの決意として禁煙に挑戦したとの話です。誰も信用していませんが、結果を楽しみにしたいと思います。

本日の最も大切なセレモニー、バッチの引継が行われました。会長はL高柳からL井上へ、幹事はL井上からL照沼へ、会計はL上西からL山崎へと渡りました。新三役への大きな期待が注がれました。

また、例会運営の要であるライオンテーマーは、欠席したL北瀬に代わりL井上からL田中へ、そして盛り上げ役のテーブルツイスターはL照沼からL倉松へと各々引き継がれました。

次期会長のL井上からは、経験年数が少ない会員で構成する執行部だからこそ出来ることのあるとの抱負が述べられました。今までとは違うとの覚悟が伝わってきました。

さて、この一年間は当クラブにとっても試練の年でした。リーマンショック後の実態経済に及ぼす影響は思いのほか深く経済的な理由で退会する会員が相次ぎました。一方で理念が自分の心情に合致しないと思われる事情で退会の止む無きに至った方もいます。

総人数で10名の退会者を出したことは素直に反省しなければなりませんし、その間に入会者が現われなかったことも会員全員の問題として受け止める必要があります。

次期の執行部に求められるのは、会員増強でありましょう。次期役員の抱負でも大半の方が、そのことに言及しておりました。組織の力を強くするには、一定数以上の数が必要となります。

次の執行部には、多くの期待をすると共に同じくらいの責務が課されました。羊ヶ丘ライオンズクラブ発展のためにも、全員で応援しましょう。

新執行部の皆さん、これからの一年間頑張ってください。

## 会長は快調

会長 井上 定幸

### ● いま始める

今期、会長を務めることになりました井上です。前年度は「幹事の感じ」との語呂あわせで当コラムを書いておりましたが、今月号から「会長は快調」と、またも親父ギャグでコラムを始めることにしました。一年間、お付き合い下さい。

### ● 再びトムラウシ

昨年7月16日に、トムラウシで登山ツアー客8人が凍死した事故が、再報道されている。あれ程の重大事故が起きたのに、相変わらずの中高年登山ブームは止まらないらしい。



まず、綿密な計画を立てること。天候が急変したら引き返すこと。食事と着衣は必ず予備を用意すること。

携帯電話が、山中でも通じる所が増えたためか、安易に出かけ救助要請が増えたと聞いた。最後は自分の意志と生命力が帰還を左右する。麓と違って、そば屋の出前のように簡単には救助隊は来てくれないのだから。

### ● クラス会

先日、高校時代のクラス会を行った。ここでも幹事は私である。卒業して40数年が過ぎているから、名前と顔が一致しない。参加者全員に名札を支給し間違いの無いようにする。

全員60歳を過ぎているから、仕事の話は少ない。孫と健康の話ばかり。中には病氣療養中で参加できない者もいた。

改めて、自分の健康に感謝する。もちろん健康な身体を維持させてくれている家人にも。

### ● アジェンダ

昨年の衆議院選挙では、マニフェストが話題になった。今年の参議院選挙はアジェンダだそうだ。新しい言辞を弄する政党に風が吹いた。皆さんも私達の例会等で聞かれたことがあると思われる。一般的には、会議の議案書のことを示す。元々はラテン語。今回の選挙では、政策課題の意味で使っていたようだ。マニフェストにしても、アジェンダにしても当初は聞いたこともない言葉。目新しい言葉で目くらしをかけるより、分りやすい説明で政策を訴えるのが本筋と言うもの。何でも横文字にすれば有り難がる時代は過ぎていることが分らないのかね。

### ● 東京タワー

久しぶりに東京へ行く用事ができた。ホテルは慣れ親しんだ芝公園の近くにとった。東京タワーがすぐ近くに見える。東京勤務の頃は、毎日目にしていた姿だ。



現在建設中の東京スカイツリーが完成すると、テレビ電波発信の役目を終えるらしい。我々の世代では、東京のシンボルと言えば東京タワーだった。

意外に思われるかもしれないが、東京タワー近辺は緑豊かである。芝公園を始めとし、徳川家菩提寺の増上寺があり、浜離宮・芝離宮も近い。

### ● Made in China

プリンタが壊れた。仕入先に聞くと納期は1週間と言う。間に合わないので量販店で購入。説明書の文面に何となく違和感がある。機械の裏面のラベルを見ると“Made in China”の文字。分ってはいても一瞬悔やんだ。改めてプリンタの原産国を調べた。もう“Made in Japan”は皆無。製造コストの問題ではなく、ものを造るシステムそのものが中国に移ってしまったのだろう。

国際分業化と言えば言葉の響きが良いが、産業空洞化が行き着くところまで来たのではないか。

次世代の若者が就職難なもの、この辺りにある。ワールドカップの時ばかりでなく、“ニッポン頑張れ”。

### ● 梅雨前線

今年も北海道を除く全国で梅雨明け前の豪雨被害が続出した。今年の特徴は、太平洋高気圧が南側に停滞して梅雨前線の動きを阻害したためらしい。山間部では、山肌が崩落し、都市部では集中豪雨により浸水被害が増大した。

雨が降るのは毎年の事なのに、年々被害が増大しているような気がする。都市のヒートアイランド現象と相まって、国土の保水力が低下しているのではないだろうか。日本の森林率は68.9%と言われているが、質が問題である。保水力の低い針葉樹林が大半で、大雨被害にはそれ程強くない。

もっともっと、山や町に樹木を植えよう。特に夏は暑熱を跳ね返し、気温を下げる効果がある。

今の時期、北大植物園に行って榆の大木の下で本を読むのも良い。真夏の都会とは思えない涼しさを感じる。

穴場は、西3丁目の北へ向う一方通行の南3条から狸小路までの間。両側から枝が伸び、日傘は要らない。

毎号このようなヨタ話を掲載していきます。会員の皆様の投稿大歓迎です。是非、ご応募下さい。



## PR 委員長がんばる

L 横井 篤子

第24期の第1号となる会報を発行しました。心の準備もなく引き受けてしまったPR委員長です。何をどうして良いのやら全く見当が付きませんでした。

優しい諸先輩や前任者に聞きながら、全体の構想だけはまとめました。あとは、経験者にお任せです。ゴメンナサイ。

それでも出来上がった会報を見ると感激です。毎号毎号、これが積みあがって行くと思うと張り合いが出ます。

これからも皆さんのご協力をお願いします。

新年度第1号ですので、恒例により新役員の抱負が大部分となりました。「羊ヶ丘」にかける意気込みが伝わってきます。

私も、その端くれとして努めていきますので、皆様ご協力の程宜しくお願い致します。

今年度は地区ガバナーが私達のゾーン（この意味も最初はよく判りませんでした）から出ているので、キャビネットに協力する仕事が増えそうと会長が言われておりました。

以前がどの程度の業務量だったのかも全く不明ですから、「分かりました」と答えるだけです。前任者の例会での発言等を聞きますと、私達の立場を明確に上層部に伝えていることが伝わってきます。

そう言った意味合いからも、素人のPR委員長は、編集後記のタイトルを“PR委員長がんばる”としました。

1年間がんばらせて下さいネ。